

氏および文献についてご教示下さった呉文哲氏に深謝する。なお、本報の検視標本は研究のために当面寺田が保管するが、将来的に(独)農業環境技術研究所(つくば市)と国立自然科学博物館(台中市)に所蔵される予定である。また、吉武による調査は日本学術振興会科学研究費補助金(研究課題番号:25304013;代表者:伊藤元己)の助成を受けて実施されたものである。

引用文献

- Andrewes, H. E., 1925. A revision of the oriental species of the genus *Tachys*. *Annali del Museo di Civico di Storia Naturale, Giacomo Doria* 51: 327–502, 2 pls.
- Habu, A., 1965. Some carabid-beetles from Formosa. *Special Bulletin of the Lepidopterological Society of Japan*, (1): 83–87.
- Habu, A., 1979. Formosan Lebiini collected by Professor T. Shirozu in 1965 (Coleoptera, Carabidae). *Proceedings of the Japanese Society of Systematic Zoology*, (16): 65–69.
- Minowa, S., 1932. New and hitherto unrecorded Carabidae from Formosa (I). *Transactions of the Natural History Society of Formosa*, 22: 281–292.
- Terada, K. and W.-J. Wu, 2014. Notes on Taiwanese Caraboidea (Coleoptera) V. A review of the Tribe Odacanthini (Carabidae) in Taiwan, with description of *Ophionea bhamoensis taiwanensis* subsp. nov. *Collection and Research*, 27: 15–41.
- Yoshitomi, H. and C.-F. Lee, 2010. Revision of the Taiwanese and Japanese species of the genus *Laius* (Insecta: Coleoptera: Malachiidae). *Zoological Studies*, 49: 534–543.

(寺田勝幸 733-0007 広島市西区大宮1丁目
2-20-203)

(吉武 啓 305-8604 つくば市観音台3-1-3
独立行政法人農業環境技術研究所)
(伊藤元己 153-8902 目黒区駒場3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科
広域科学専攻, 広域システム科学系)

【短報】愛媛県松山市内で採集されたオオシラホシハナノミ

オオシラホシハナノミ *Hoshihananomia pirika* Kôno は、北海道から九州にかけて局地的に記録され、本州以南では通常ブナ帯で採集されている。四国ではこれまで愛媛県川内町(小笠原, 1999)および赤星山(高橋, 2004), 高知県手箱山および梶ヶ森(高桑, 1978), 徳島県美馬市竜王山(和田, 2001)および那賀町(光枝, 2009)の記録があるが、筆者らの1人栗原は次のとおり愛媛県松山市内で本種を採集しているので報告しておく。

2♂♂, 松山市常光寺町(標高120 m), 26. VI. 2007, 栗原隆採集(神奈川県立生命の星・地球博物

館収蔵予定)。

採集された個体は、丘の頂上部にある弘法大師像へと続く参道沿いに植えられた、ソメイヨシノの生葉をスイーピングしたところ得られた。その生葉は、参道沿いの広い空間に張り出しており、木漏れ日がよく当たっていた。

上記の採集地点は、道後温泉の背後に連なる標高200–260 mの丘陵の一角で、海岸からは7 km程度しか離れていない。ごく最近、南関東でも低標高地から立て続けに採集されており(八巻, 2014; 高桑, 2014), 低標高地での相次ぐ発見は興味深い。

なお、今回の発表が採集時から数年も遅れたのは、採集地点がそれまでの常識的な生息環境から大きく逸脱していたため、念のため雌個体の採集を待つてから分類学的な検討を行おうとしたことによる。残念ながら、追加個体は得られないままである。

なお、香川県大滝山からは、キラホシハナノミ *Hoshihananomia kirai* が記録されている(坂口, 1989)が、この種は台湾と八重山諸島に分布が知られる一方、本種にきわめて似た形態的特徴を持つ。このため、記録の基となった標本を検していないものの、オオシラホシハナノミの可能性が高いと考えられる。

末尾ながら、和田(2001)と高橋(2004)の記録をご教示いただいた藤本博文氏に心からのお礼を申し上げる。

引用文献

- 小笠原隆, 1999. 四国におけるオオシラホシハナノミの記録. 月刊むし, (346): 6.
- 光枝 洋, 2009. オオシラホシハナノミの徳島県下における採集例. 月刊むし, (457): 48.
- 坂口清一, 1989. 香川県産昆虫標本目録兼香川県産昆虫目録. 231 pp. 個人出版.
- 高橋英治, 2004. 赤星山甲虫採集報告. へりぐる, (25): 31.
- 高桑正敏, 1978. 日本産ハナノミ族の種別分布資料(1). 甲虫ニュース, (40): 12.
- 高桑正敏, 2014. 神奈川県初記録のオオシラホシハナノミ. さやばねニューシリーズ, (16): 31.
- 和田洋介, 2001. パナナトラップによる採集. へりぐる, (22): 38–42.
- 八巻 卓, 2014. 東京都高尾山でオオシラホシハナノミを採集. 月刊むし, (525): 63.

(栗原 隆 320-0865 宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館)

(高桑正敏 236-0031 横浜市金沢区六浦3-16-9)